

## 企業を伸ばす 地域を活かす 2

〈杉並区・文京区編〉

2016年の入社以来、埼玉県を2年間担当し、今年4月から東京都杉並区と文京区を主に担当しています。

現在、私が担当している投資先企業には、たとえばリコイルスターター（小型エンジン始動装置）で国内シェア7割を有するスターテング工業（杉並区桃井）があります。同社の製品は農業機械や産業機械のほか、モーターボートやスノーモービル、バギーなどにも用いられており、海外でも欧米を中心に市場を拡大中で、技術力は高く評価されています。

また、フィルム製造装置などを手がけるムサシノキカイ（杉並区高円寺南）も私が担当しています。同社は1959年に創業し、独創的なアイデアで、たばこや食品の包材となるセロファン紙製造装置を

## ⑩ 「長期的に投資先企業にとって1番良いことは何か」を大事に成長支援

開発しました。時代が変わり、素材がセロファンからプラスチックのフィルムに移り変わる中、樹脂を溶かしてフィルムを作り貼り合わせる、ラミネーターの国産1号機を世に送り出した研究開発型企業です。

私が新卒で当社に入社したのは、当社が長期安定株主という立場で中小企業に関わることができる、他にはない特徴を持っているからです。株主として「長期的に投資先企業にとって1番良いことは何か」という目線で支援を行っています。

これまで投資先企業から様々なご相談をいただく中で、こちらで一旦問題点を整理して専門家につなぐ「専門家無料相談」などの支援を行ってきました。たと

えば「会社を買収する際のM&Aの事務手続きをサポートしてほしい」という依頼を受けて、その分野に詳しい弁護士や会計士を紹介したこともあります。

こうした課題や悩み事について、お客様から最初に声をかけていただくために、まずは初回のレスポンスをなるべく早くすることを心がけています。最初の回答を、いかにお客様の期待に応えられるようなものにするかも重要だと考えています。

これまでの経験を活かし、受けた相談にただ回答するだけでなく、「将来の市場の変化に対応するには、今こんな対策が必要ではないでしょうか」などの提案を行い、投資先企業の経営者の役に立てる存在になることが私の目標です。



東京中小企業投資育成 業務第2部  
主任

### 勝野 連さん (25歳)

1992年6月長野県生まれ  
2016年3月慶応義塾大学法学部卒業  
2016年4月東京中小企業投資育成に入社  
業務第5部(埼玉県担当)に配属  
2018年4月業務第2部(東京都杉並区、文京区を主に担当)に配属